



にこにこ通信第159号

2008/6/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にっこりにこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごーごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚くお礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私の人生修行の糧といたしたたく、ひと月に一度お届けしています。どうぞ、忌憚の無いご意見をお寄せください。ようようお願い申し上げます。 謹白。

一 主(あるじ) なき国家

原油価格の高騰による諸物価の値上がりは国民生活を直撃して、じわじわとその影響を及ぼし始めています。「外食を控える」「不要な物を衝動買いしない」「通勤手段を徒歩・自転車・公共交通機関に替える」などと、近頃の「地球温暖化対策」にも一役買っているようです。しかし前々号にも記しましたが、それを道路特別財源法案いわゆるガソリンの暫定税率をめぐる廃案・維持復活劇の際、「ガソリンの暫定税率維持はガソリンの価格低下を止めるので、国民の浪費心を抑え節約心を高め、ひいては地球温暖化防止にもつながる」などとふざけたことを暫定税率維持の理由に掲げている国会議員がいました。国会議員は国民の代表として、法律を定め、内閣総理大臣(行政の長)を任命し、内閣総理大臣は各省の長を任命して、役人を駆使して国民生活の便を図るのが本来の形・在り方です。

ところが、この頃の国会議員は「国民の代表」としての意識は無く、自己とそれを取り巻く者達の利を図る団体の旗印としての存在でしかありません。だから、永年掛けて折角形成した営利団体を維持するための、「二世(偽)議員が多いのです。行政(各省)の長としての見識も資質もなく大臣になって、役人に馬鹿にされ、態よくこき使われているから、本来は国民の僕(しもべ)である役人共が日本国を好きなようにしているのです。

太平洋戦争が終わり、マッカーサーが日本へ進駐した直後、昭和天皇が正装し風呂敷包みを携えて彼を訪ねました。曰く「この中には私個人の全財産目録があります。これを貴方にあげますから、貴方のちからで国民に食料を支給してください」。これが一国の主(あるじ)の言葉です。今日の国会議員の中に、こんな心を持った者が何人いるでしょうか。国家の運営は国会議員が法律を立て、国会議員の任命した大臣による行政であるべきです。使用人(役人)に国家の将来を委ねてはなりません。恥を知り名を惜しみ武士道を重んじ、己の全財産はおろか命まで捧げる覚悟でなければ、国会議員に立候補してはいけません。

「富山方言番付」

東の関脇「つかえん」

意味|| かまわない。心配ない。大丈夫。 夫。支障・差し支えがない。

「これ、賞味期限切れとれど大丈夫?」

「なーん、つかえん」|| 「大丈夫」。

「おわ(私)も行ってもいいかね」

「つかえん、つかえん」|| 「かまわん、かまわん」。

「あんたの鋸、使うてもいいけ」

「なん、つかえん」|| 「ああ、いいよ」

(「いいえ、使えません」ではない)。

類義語に「じゃまない」と言うのが

ある

「あいつに任いといて、じゃまないけ」

「じゃまない、じゃまない」|| 「大丈夫、大丈夫」。

「邪魔がない」が元で|| 「障りが無い」

|| 「大丈夫」となったと思われる。

西の関脇「こーりやく」

意味|| お手伝い

「年寄りの面倒、ちよっこ、こーりやくしようけ」|| 「年寄りの面倒、少し手伝いしましょうか」

(「攻略」ではありません)。

次回は

東の小結「だいてやる」

西の小結「うしなかず」